

越谷も

YES, WE CAN.
『やればできる』

発行日: 2010年5月30日

発行者: チーム白川

No.3号

事務所: 越谷市大里 226-1
TEL/FAX 048-970-8005

『トライ&チャレンジ』 Try & Challenge

【訂正とお詫び】

前回のNo.2号「グラウンドゴルフチーム紹介記事」で、『渡部止雄氏』を誤って『渡辺止雄氏』と記載しました。訂正と共にお詫びを申し上げます。

越谷の YES, WE CAN. Part II

越谷3月定例議会は1,400億円の22年度予算案を原案通り可決して終わりました。

昨年10月市長選で市民との約束をしたマニフェストの実行はどのようなのでしょうか。

越谷の事務事業は約600項目あります。今期はそれに市長公約の事業が上乘せされますから、総事業に優先順位を付けて取り組まなくてはなりません。「あれも・これも」の時代から「あれか・これか」の選択をする時代変化は、国はもちろんのこと、多くの自治体共通の課題であり、越谷だけに当てはまることではありません。「これまでの市民サービスの何かを我慢する」ことを、市民と合意していくことが求められています。

そうしなければ次世代の子どもたちに、さらなる負担を負わせることとなります。2,000億円もの借金を先送りにしたり、小中学校の耐震化が40%も未達成だったり、市立病院の赤字経営や入院患者が6,000人も減少する計画が、“埼玉県安心度ナンバー1”を目標とする市長公約の一体何を指すのでしょうか？相変わらず市民権者には見えない・見せない何かを引きずったままの市政運営が展開されています。投票率35%で選ばれた首長とはいうものの、市民の無関心もいよいよ加減にしないと、最悪の結果を招くことになるのではないのでしょうか。いや、もう既にその道程に入っているのかもしれませんが、しかし、今この記事を読んでいる一人ひとは越谷の人的資源であります。この人的資源がある限り、「何かを起す・変革する」可能性を持っている期待があります。ほんの少しだけ今住む越谷のため、次世代のため、力を出し合いませんか。(西川)

■ タウンミーティング第80回記念大会-4/18

4月18日(日)午後2時より、越谷ブランドとして注目される“鴨ネギ鍋”を囲んでの、美味しく、楽しい会でした。これまでお出でいただいたゲストスピーカーの方々にも出席いただき、歌有り、演奏有り、笑い有りという、初めての経験でした。

「投票したらあとは白紙委任」という、右肩上がりの時代の議員と市民の選挙互助会的な関係から、協力し、参加をする関係に一步踏み出しました。(渡辺)



●野口料理長のスピーチ



●白川議員の挨拶

■ 第7回白川ひでつぐ14時間マラソン演説会 -5/20

「議会への市民参加を実現しよう」というテーマで、5月20日(木)朝6時から夜8時までの14時間を無事完走しました。雨の中で行われましたが、準備した1,200枚のチラシを全て受け取っていただき、政治への関心の高まりを感じました。(浅子)

●白川議員、応援の上杉世田谷区議、伊藤チームリーダーと「チーム白川」のメンバー(夜8時完走時点)



■「第6回桜井地区市政報告会」に参加-4/10

➤ テーマ:3月越谷定例市議会

前回の第5回市政報告会(議会開催前に新規事業を含めた予算概要の説明のための報告会)に続いて、第6回市政報告会(3月議会での議決事項の報告及び事務事業の審査結果や課題についての報告)が40名の参加で開催されました。質疑・応答も「議決についての賛成・反対の違いをどうマネージメントしているのか」

「事業仕分けについて何故市長は反対なのか」「職員の地域手当の付帯決議が否決されたが、反対した議員は6%と7%の支給格差を認めると理解しているのか」等、非常に蓄積が感じられる市政報告会でした。(三輪)



学生議会傍聴記-5/10

5月10日、越谷学生議会が開催されました。31名の学生の一般質問に、行政ではなく議員が答弁をするという画期的な試みでした。質問を準備した学生議員も、各委員会内で超党派で答弁を準備した議員の方や、資料準備等の答弁をサポートした市職員の方にも相当の苦勞の程が感じられました。何人かの学生議員の再質問にタジタジとなる議員や、準備した答弁にプラスして自分の見解を述べられる議員もいて、まさに開かれた議会の一歩が踏み出されたという印象でした。今後多様な形の議会の試みが待たれます。(三輪)

「第1回政経セミナー」に参加-3/25

- テーマ:自治体改革と議会の役割
- 講師:福嶋浩彦 中央学院大学教授

政経セミナー運営委員会が主催するセミナーが60数名の参加で行われました。講師の福嶋教授は当日緊急に行われた政府の「新しい公共円卓会議」を中座して駆けつけていただきました。



市民が主権者として市長(行政)・議会に参加する必要性とその仕組み作りについて話がなされました。(岡村)

第1回大袋地区市政報告会に参加-4/16

市政報告会の波が桜井地区から大袋地区に波及し、第1回報告会が超党派7名の議員の主催で開催されました。報告会では、3月議会での議決報告や各議員担当の新規事業についての説明がなされ、質問では「この予算で、どうして埼玉県安心度No.1といえるのか、その基準を示してもらいたい」等、市民の側からの厳しい点検・検証が行われました。今後の課題として予算全体の概要説明や、議案の賛成理由・反対理由の説明等が問われた報告会でした。

大袋地区での蓄積と次なる地域への波及が今後期待されます。(三輪)



グラウンドゴルフ

【シリーズチーム紹介】サンフラワーズクラブ

ラジオ体操のグループが母体で、創立8年目。代表は山下洋實氏。会員数57名を誇る。月例大会は月1回(4月から11月まではせんげん台第4公園)、週3回練習会(袋山第4ふれあい公園)を開催。グラウンド・ゴルフ上級指導者が5名、がんばろう越谷大会で唯一ダイヤモンド賞を獲得された方が在籍する等、腕前は折り紙つきの“つわもの”揃い。



モットーは、「健康で、永く、楽しく」

「TVにかじりつくのを止めて、外に出よう」。(三輪)

●サンフラワーズクラブの皆さん

“がんばろう越谷大会”に参加していただいているチームを順次紹介して参ります。

編集後記

- ✓ 街頭や地域挨拶回りの対話では、鳩山政権の評価等、国政のことはよく話題になりますが、越谷市政の話は少ないのが実情です。“議会への市民参加”を具体的にイメージできるように、引き続き努力していきたいと思えます。(岡村)